

平成二十年七月にオープンしたギャラリー「ぶかぶ館」ですが、お陰様で丸四年を無事に過ごすことができました。これも「ぶかぶ館」を支えてくださった多くのお客様のお陰と、感謝いたしております。

このたび五周年の節目の年を迎えるにあたり、私の尊敬する熊谷元一さんの作品を展示する「熊谷元一写真童画展」を開催させていただくことになりました。

数多くの写真集を出版している熊谷元一さんですが、代表作の一つである「一年生 ある小学教師の記録」は昭和二十年代、戦後間もない頃の村の小学校が舞台です。当時、この学校の教師だった熊谷さんは授業の合間や放課後、休みの日などに子どもたちにレンズを向け、シャツターを押し続けたといひます。

絞りやシャッタースピードを瞬時に計算し、構図を考えながらピントを合わせてシャツターを押す。高性能カメラの性能に頼ることの多い今の私には、まさに神業のように思えます。そして、カメラのレンズを気にせず自然にふるまう被写体の生徒さんたち。このような表情を見せるまでに、熊谷さんはどれだけシャツターを押し続けたことでしょう。撮影の後は膨大な量のフィルムを自宅に持ち帰り、現像、焼き付け。一日のほとんどが写真とともにあったと想像されます。

現在は主に風景写真を撮っている私ですが、熊谷さんの写真はジャンルこそ違え、私のバイブルの一つです。時々、写真集を取り出しては思わず笑い、ほっとした気持ちにもさせられます。一枚一枚の写真に込められた暖かいまなざしと気持ちひしひしと伝わってくるのです。

「熊谷元一写真童画展」は開館五周年を迎えた「ぶかぶ館」にとって初めてのビッグイベントです。熊谷ワールドに触れ、「苦しかったけど、希望もあった時代」を感じていただければ幸いです。なお、今回の展示は熊谷元一さんのご長男でブックデザイナーの熊谷博人さんと熊谷元一写真童画館のご協力をいただき開催することができました。厚くお礼申し上げます。

小松 ひとみ

今まで以上に多くの方々にくつろいでいただけるスペースを目指し、妹と一緒に努力してまいります。今後ともご愛顧の程をよろしくお願い申し上げます。

館長 小松 優美子

熊谷元一 プロフィール



熊谷元一写真童画館ホームページ
<http://www.vill.achi.nagano.jp/kanko/motoiti/index.html>

- 1909年 長野県下伊那郡会地村(現阿智村)に生れる。
- 1932年 童画作品が『コドモノクニ』5月号に初めて掲載。以後、童画家として数多くの作品を発表する。
- 1936年 単玉レンズ付きパーレットカメラを購入し、写真による村誌作成を決意。
- 1938年 写真集『会地村 一農村の写真記録』(朝日新聞社)出版。
- 1955年 『一年生 ある小学教師の記録』(岩波書店)で第1回毎日写真賞受賞。
- 1968年 絵本『二ほんのかきのき』(福音館書店)出版。
百万部を超えるロングセラーとなる。
- 1975年 写真集『ある山村の昭和史信州阿智村39年』(信濃路)出版。
- 1988年 阿智村に「ふるさと童画写真館」(現熊谷元一写真童画館)開館。

- 1989年 『グラフィック・レポートふるさと昭和史 暮らしの変容』(岩波書店)出版。
- 1990年 日本写真協会功労賞受賞。
- 1992年 『画集 熊谷元一の世界』(郷土出版社)出版。
- 1993年 長野県教育関係功労賞を受賞。
阿智村名誉村民。
- 1994年 文部大臣より地域文化功労者として表彰される。
『熊谷元一写真全集』全四巻(郷土出版社)で第48回毎日出版文化賞特別賞受賞。
- 1995年 伊那谷の生活・文化を写真と童画で記録した功績で第2回信毎賞受賞。
- 2006年 産経児童出版文化賞ニッポン放送賞受賞。
- 2010年 11月6日に101歳で死去。
- その他、写真集、絵本、エッセイ集など著書多数



七草なすな



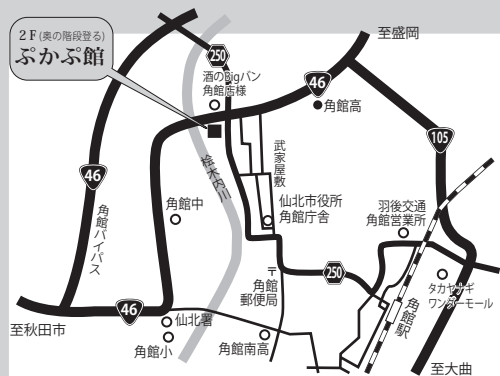
5を頭において 昭和29年撮影



案子(ノ馬乗り)掃除 昭和29年撮影



竹馬あそび



ギャラリー&カフェ ぶかぶ館

〒014-0359 秋田県仙北市角館町北野78 2F
(1Fは麵所『花うさぎ』)

※ 角館駅より車で5分 徒歩約26分
Tel. 0187-53-2473 / Fax. 0187-53-2474